

2014年12月18日



Aarki, Inc
CEO: Sid Bhatt

日本の大手インターネット広告代理店4社、時代の波に乗り **Aarki, Inc.**のリッチメディア事業を促進する **Aarki Encore** を導入

日本の大手広告インターネット代理店である、株式会社セプテーニ（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 光紀）、GMO TECH 株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：鈴木 明人）、株式会社オムニバス（所在地：東京都目黒区、代表取締役 CEO：山本 章悟）、株式会社インタースペース（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：河端 伸一郎）の4社（順不同）が **Aarki, Inc.**（所在地：カリフォルニア州マウンテンビュー、CEO：Sid Bhatt、以下 **Aarki**）のモバイルクリエイティブ最適化&メディアバイイング ツールで今までにないインタラクティブ広告フォーマットを日本で実施し、広告の最適化を計ることを開始する事を決定しましたので、本日発表致します。

アドタイジングの最先端に立つ大企業として、この4社は常に最新のモバイルテクノロジーを事業に組み込んできました。**Aarki** とのアライアンスにより、今までにない刺激的な広告マーケットが切り開かれるかと思われまます。IAB（Internet Architecture Board）の影響により、市場ではネイティブ・RM・動画広告の基準を定める動きがあります。広告基準により、代理店はすべての広告に共通のクリエイティブ制作・配信ツールを利用できるようになり、動画広告やインタラクティブ・アドタイジングの経営費を削ることができます。

この発表の数ヶ月前、**Aarki** は本社のクリエイティブ制作・メディアバイイング・広告最適化プラットフォーム・**Aarki Encore** の日本版をローンチしました。**SV Frontier**、株式会社インタースペース、**Scrum Ventures** を含む日本の大手企業の投資より実現しました。

Aarki の CEO・Sid Bhatt 氏は以下のように述べました。

「この大手インターネット広告代理店とのパートナーシップ結成を心より歓迎しています。日本の消費者はモバイル広告に、より高いインタラクティブ性を求めており、アドタイザーはその要求に見合うフォーマットの広告を効率良く制作する必要があります。**Aarki** のパートナーならば分単位で消費者を引き込む充実したモバイル広告を制作できます。」

現在英語、日本語、及び中国語で利用可能な **Aarki Encore** は魅力ある動画やコンテンツをベースにした広告の卓越したモバイル配信を提供します。このウェブベース・プラットフォームの

充実したドラッグ&ドロップ式のウィジェットを使用し、クリエイティブチームは分単位でアイデアを実現でき、広告の成果をリアルタイムでトラッキングできます。アニメーション・タイムライン、動画のフレームシーケンス化、広告のゲーム化等の機能がスッキリとしたUIや使い慣れたキーボードショートカットと組み合わせたり、ハイクオリティな広告の制作をサポートします。消費者のインタラクションがリアルタイムで計測されているため、代理店はクリエイティブの最適化をそのまま行うことができます。

Aarki 日本カントリーマネージャーの倉田浩明氏は以下のように述べました。

「日本を代表する4社とアライアンスを組めたのは弊社にとっても大変喜ばしい事です。世界で信頼を得ている我々のサービスが日本でも支持されたと感じております。引続き日本のマーケットに対し、最高のパートナーと共に、最適な形で最良のサービスを提供していきたいと思えます。常にこの流れの先に位置できるよう、我々は引続き日本市場に全力を注ぎます。」

Aarki について

Aarki はモバイル・マネタイゼーションを質の高いクリエイティブで創り変えていく会社です。動画・コンテンツベースのモバイル広告用に業界でも最先端のクリエイティブ最適化&メディアバイイングプラットフォームを提供しています。モバイルのバイヤー・セラーを問わず、Aarki はより良いクリエイティブでより良い成果へとサポート致します。充実したカスタマーベースには有名なブランド、代理店、ディベロッパー、プレミアムパブリッシャー等が含まれます。

カリフォルニア州マウンテンビューに本店を構える Aarki は世界的に活動しており、北京・ロスアンゼルス・マニラ・ニューヨーク市・東京・エレバンに拠点をもちます。

リリース、サービスに関するお問い合わせ先

ツイッター @aarkimobile (英語)

www.aarki.jp (日本語)

www.aarki.com (英語)

※ 上記お問い合わせフォームにて、ご連絡下さいませ。

以上